

目次

- 1 はじめのうた
- 2 季節のカード (行事編)
- 3 俳句 小林一茶 与謝蕪村 野沢凡兆
- 4 あそびうた ちょうおんおじさん
- 5 早口ことば 「東京特許許可局」
- 6 かぞえうた 1冊 1本 1張 (絵本、うちわ、提灯)
- 7 今月の詩 若水 島崎藤村
- 8 たし算 同じ足し算
- 9 ことわざ たで食う虫も好きずき 月とすっぽん
天は二物を与えず 流れる水は腐らず
- 10 うた 角度のうた
- 11 なぞなぞ
- 12 手あそびうた グーチョキパーでなにつくろう
- 13 今月のうた 宝石のうた
- 14 四字熟語 意気投合 誇大妄想 絶体絶命
- 15 おはなし さるかに合戦
- 16 童謡 花咲かじじい
- 17 イメージトレーニング 森のお友だち (第10話 くまさんの悩み)
(イメージしてみましよう)
- 18 漢詩 山行
- 19 百人一首 周防内侍 曾禰好忠 元良親王 参議等
- 20 復習コーナー
- 21 暗示 (静かなところで目を閉じて聞きましょう)

俳句

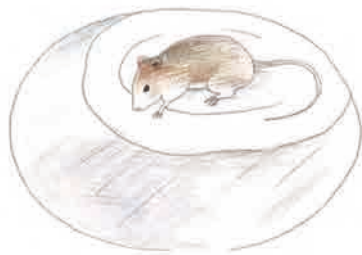
つく^{はね}羽根を 犬^{いぬ}がくわえて 参^{まい}りけり

こばやし いっさ
小林一茶



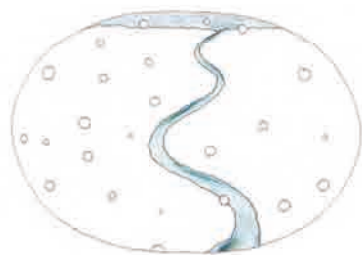
さら^{さら}皿をふむ 鼠^{ねずみ}の音^{おと}の 寒^{さむ}さかな

よさぶそん
与謝蕪村



ながながと 川^{かわ}一筋^{ひとすじ}や 雪^{ゆき}の原^{はら}

のざわ ほんちよう
野沢凡兆



《ちょうおんおじさん》

ちょうおんおじさん なんでもかえる

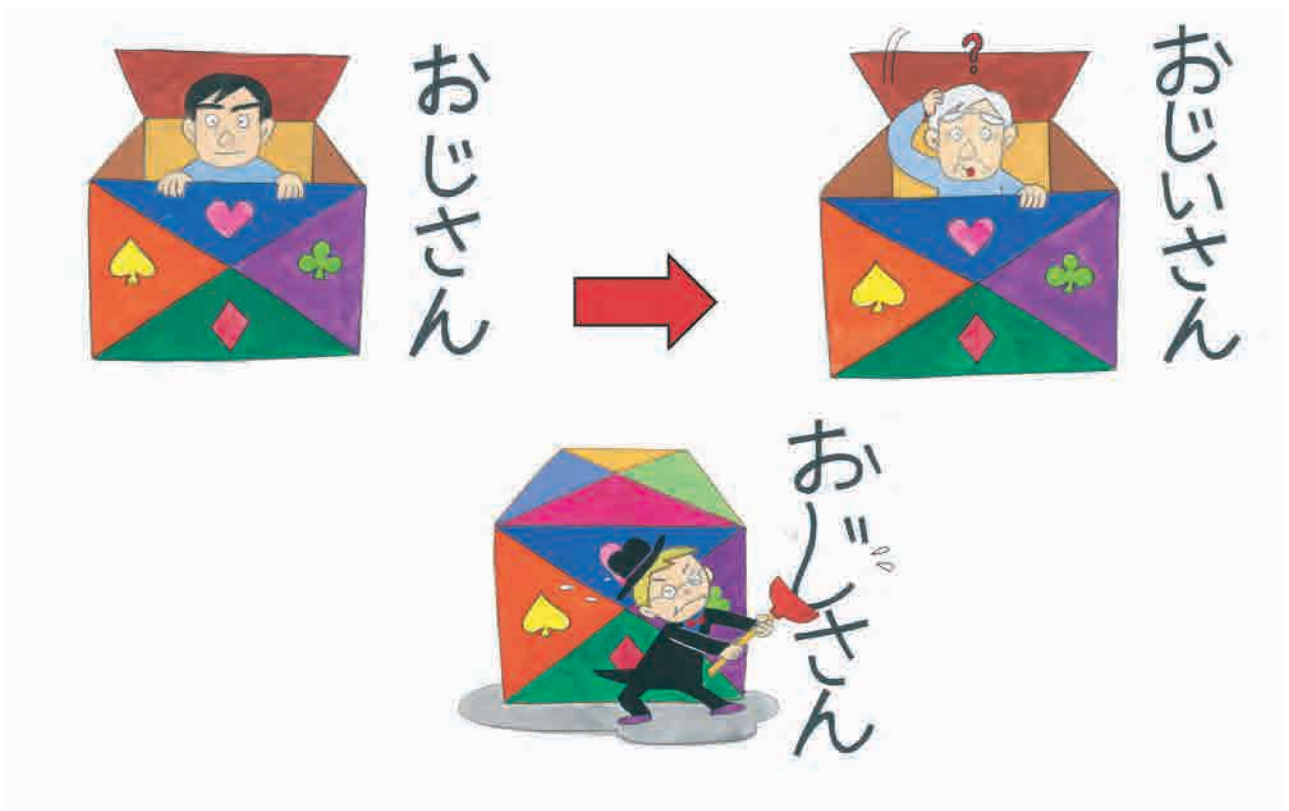
ぼくのおじさん あっというまに おじいさん

ぼくのおばさん あっというまに おばあさん

たかいビルは ビールにへんしん

みていたちずは チーズにへんしん

あんまりたくさん かえないで



今月の詩

わか みず
若 水

しまぎきとうそん
島崎藤村

くめどつきせぬ わかみずを
きみとくままし かのいずみ

かわきもしらぬ わかみずを
きみとのままし かのいずみ

かのわかみずと みをなして
はるのこころに わきいでん

かのわかみずと みをなして
きみとながれん はな花のかけ



たで食^くう虫も好^{おし}きずき

に^がいたでの葉^はを食^くう虫^{むし}がいるように、人^{ひと}の好^{この}みは
さまざまである。



つき
月とすっぽん

つき
月とすっぽんは丸^{まる}いところは同^{おな}じでもま^{ちが}ったく違^{ちが}う
ものであること^{ふた}から、二^{ふた}つのもの^{ふた}の
間^{あいだ}に大^{おお}きな差^さがあること^{ふた}のた^{ふた}とえ。



てん に ぶつ あた
天は二物を与^{あた}えず

いくつもの才^{さい}能^{のう}や長^{ちよう}所^{しよ}など、い^{さい}い^{のう}と^{ちよう}ころ^{しよ}ば^{さい}かり
そ^{さい}ろ^{のう}っ^{ちよう}て^{しよ}いる人^{ひと}は^{さい}い^{のう}ない^{ちよう}こと^{しよ}。



なが みず くさ
流^{なが}れる水^{みず}は腐^{くさ}らず

つね^{つね}に活^{かつ}動^{どう}して^{つね}いるもの^{つね}には、停^{てい}滞^{たい}が^{つね}ない。



なぜなぜ

- 1 海うみに浮うかんで、おなかの上うへで、貝かいを割わってたべる
いきものはななに？
- 2 大きおおな体からだで、時々ときどき噴水ふんすいみたいに潮しほをふくいきもの
ななに？
- 3 はさみがあって、横歩よこあるきが得意とくいないきものななに？
- 4 あさい海うみの底そこにすむ、星ほしの形かたちをしたひらたいいき
ものはななに？

《グーチョキパーでなにつくろう》

① グー



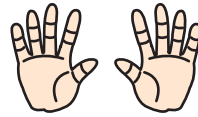
手をグーに

② チョキ



手をチョキに

③ パーで



手をパーに

④ グーチョキパーで

①～③をくりかえす

⑤ なにつくろう
なにつくろう



手をパーのまま
左右にゆらす

⑥ みぎ手が
チョキで



みぎ手でチョキを
だす

⑦ ひだり手も
チョキで



ひだり手もチョキを
だす

⑧ かにさん
かにさん



左右にゆらす

⑨ グーチョキパーで
グーチョキパーで
なにつくろう
なにつくろう

①～⑤をくりかえす

⑩ みぎ手がパーで
ひだり手もパーで



うたにあわせて
パーをだす

⑪ ちょうちょ
ちょうちょ



おやゆびをかさねて
ゆらす

⑫ グーチョキパーで
グーチョキパーで
なにつくろう
なにつくろう

①～⑤をくりかえす

⑬ みぎ手がチョキで
ひだり手がグーで



みぎ手でチョキ、
ひだり手でグーをだす

⑭ かたつむり
かたつむり



チョキのうえに
グーをのせる

《ほうせき宝石のうた》

ルビー サファイア エメラルド

キラキラひか光るきれいないし石は ほうせき宝石だ

ほうせき宝石の特徴は とくちょう美しいこと うつく珍しいこと めづら傷つきにくいこと

ダイヤモンドは ちきゅうじょう地球上でもっと最もかた硬く

よっ四つのシーCがね値打ちをき決める

カット カラー カラット クラリティー

みどり緑が有名 ゆうめいエメラルド みずいろ水色のアクアマリン

あか赤やピンクは ルビールビー きいろ黄色がおほ多い トパーズトパーズ

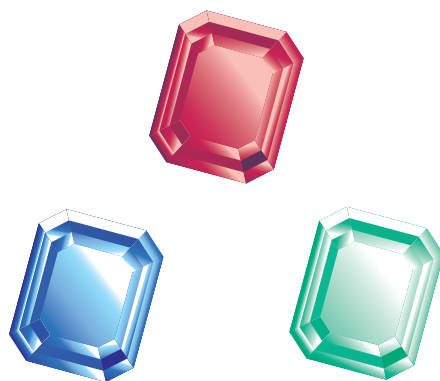
あお青やむらさき紫がおほ多い サファイアサファイア アメシストアメシスト

ひかり光のせん線がでてくる

キャッツアイ スターサファイア スタールビー

ほか他にも オパールオパール ひすいひすい トルコ石トルコ石

こはくや ぞうげぞうげ べっこうべっこう しんじゆ真珠 さんごさんご など



い き とうごう 意気投合

かんが かつ き も あ なか よ
考え方や気持ちがあ合って仲良くなること。



こ だいもうそう 誇大妄想

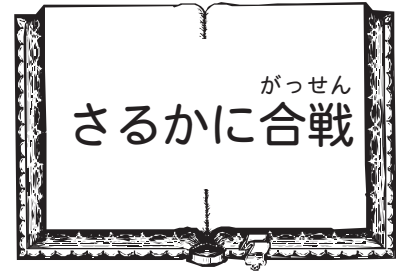
もの じ ぶん のうりよく じっさい い じょう おお かんが
ある物や自分の能力などを実際以上に大げさに考え、
それを事実と信じること。



ぜったいぜつめい 絶体絶命

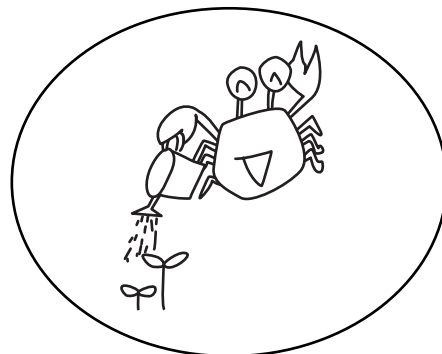
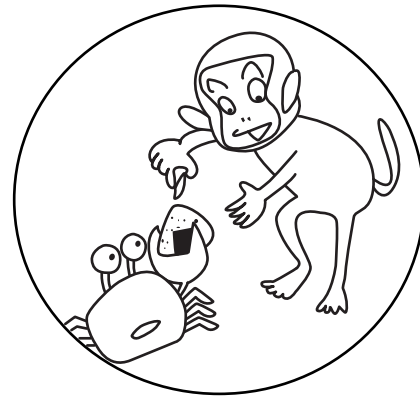
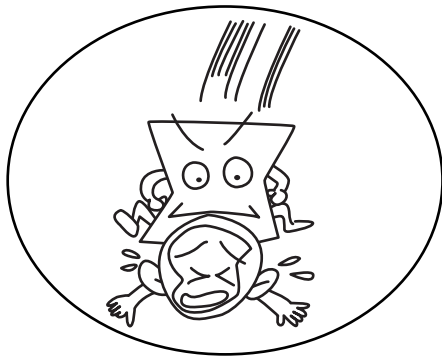
き き こんなん のが
危機や困難からどうしても逃れられることができ
ない状況に追いつめられること。





「さるかに合戦」は、カニのお母さんをいじめた意地悪なサルに、カニの子どもたちが仕返しをするお話です。お話を聞いた後で、質問にこたえてみましょう。

- 1 サルが、カニのお母さんと取りかえようとしたものは、何と何ですか。
- 2 カニはそれをもらって、どうしましたか。そして、何と行って育てましたか。
- 3 サルを懲らしめようと協力したのは、子ガニと栗の他に誰がいましたか。
- 4 屋根の上に隠れていたのは誰ですか。
- 5 痛めつけられたサルは、どう思いましたか。



山さん
行こう

杜と
牧ぼく

遠とおく寒山かんざんに上のぼれば 石径せきけい斜ななめなり
 白雲はくうん生しょうずる処ところ 人家じんか有あり
 車くるまを停とどめて坐そろに愛あいす 楓林ふうりんの晚くれ
 霜葉そうようは 二月にがつの花はなよりも紅くれないなり



春の夜の

夢ばかりなる
手枕に

かひなく立たむ
名こそ惜しけれ

(周防内侍)

由良の門を

渡る舟人
かぢを絶え

行方も知らぬ
恋の道かな

(曾禰好忠)

わびぬれば

今はた同じ
難波なる

みをつくしても
逢はむとぞ思ふ

(元良親王)

浅茅生の

小野の篠原
忍ぶれど

あまりてなどか
人の恋しき

(参議等)



周防内侍